

第3学年 特別の教科「道徳科」年間指導計画

- 1 最高学年としての自覚を深め、自律の精神を重んじ、協力してよい校風を樹立するように努める。
- 2 より高い目標を立て、希望と勇気をもって着実にやりぬく強い意志をもつようにする。
- 3 温かい人間愛の精神を深めるとともに、謙虚に他に学ぶ広い心をもつようにする。
- 4 生命に対する畏敬の念を深め、自然を愛し、人間として強く生きること喜びを見いだすようにする。
- 5 社会への奉仕の気持ちを深め、公共の福祉と差別や偏見のない社会の実現に努めるようにする。
- 6 日本人としての自覚をもって国を愛するとともに、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする。

月	週	主題名	教材名	内容項目	ねらい	評価の観点	関連行事等
1	4	1 信念をつらぬいて生きる	1 背番号15が歩んだ道一黒田博樹	D(22)よりよく生きる喜び	○ファンへの感謝を忘れずに、夢をあきらめず努力した主人公の姿勢に共感し、自分の信念を貫きながら正直に生きていこうとする心情を育てる。	MLBの選手になっても、自己に厳しい評価を課し、ファンへの感謝の気持ちを忘れない黒田選手の生きる姿勢に共感している。	始業式 入学式
2	4	2 言葉にそえて	2 言葉おしみ	B(7)礼儀	○作者が経験した、投げかける言葉と受け止める言葉のやりとりの場面を通して、人間尊重の精神を養い、時と場に応じた適切な言動をとろうとする心情・態度を育てる。	挨拶や時と場に応じた適切な言葉の大切さを実感している。	歓迎行事
3	4	3 郷土に息づく心ふれて	3 島唄の心を伝えたい	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	○郷土の人々や土地を愛し、誇りをもって大切にしている作者の姿に共感することで、郷土の自然や文化に愛着をもち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。	郷土の人々や土地に誇りをもち、大切にしている作者の姿に共感している。	
4	5	1 いじめのない世界へ (1)	4 無実の罪	C(11)公正、公平、社会正義	○主人公の人間関係の変容を追う事で、人間が本来もつ、よりよく生きようとする心を信じる心情を育む。	主人公の周囲への流されやすさやくじけそうな姿に、自分を重ね合わせて考え、主人公が次第に人を信じられるようになっていく姿を通して、人間を信じることの大切さについて考えている。	
5	5	2 いじめのない世界へ (2)	5 ある日の午後から	A(1)自主、自律、自由と責任	○主人公の心情の変化を追う事で、自分で誠実に考え、行動の結果に責任をもつ心情を育む。	母親の思いをすぐには素直に受け止められないながらも、安易な自分の行動を振り返り、次第に自分の誤りを受け入れていこうとする主人公の気持ちの変化を共感的に捉え、考えている。	生徒総会
6	5	3 自分の生活を見直して	12 スマホに夢中!	A(2)節度、節制	○スマートフォンに夢中になってしまい、事故を起こしてしまった主人公の行動を通して、安全で調和のとれた生活について考え、進んで実行していこうとする態度を養う。	スマホの使用による生活の乱れや事故がなぜ起こるのかについて、多面的・多角的に考えている。	
7	6	1 いのちを考える (1)	13 あなたはすごい力で生まれてきた	D(19)生命の尊さ	○生命がもつ、命を引き継ぐとする力の強さに共感することで、生きる力の尊さを自覚し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。	互いの命をそれぞれが生かしていることを理解し、生まれ得なかった命の代表として今を生きていることを自覚し、命の大切さについて深く考えている。	いのちを見つめる日
8	6	1 いのちを考える (2)	14 くちびるに歌をもて	D(19)生命の尊さ	○極限の状況にあっても自らの生命を信じ、互いに支え合って生き抜いた人々の姿を通して、自他の生命を尊重し、生命のある限り、与えられた生命を大切に生き抜いていこうとする態度を育てる。	不安や孤独、絶望が押し寄せる極限の状況の中で歌声が聞こえてきたときの主人公の気持ちについて、生きる希望との関わりから考えを深めている。	道徳公開授業 平和学習

9	6	2	人っていいなあー 思いやりの連鎖	7 一冊の漫画雑誌	B(6)思いやり、感謝	○被災地において自分がすべきことを考え行動する主人公と、その思いが善意の募金箱の設置となり広がったことを理解し共感することで、思いやりの心を持ち、互いに助け合い、心の絆を大切にしながら強く生きていこうとする心情を育てる。	辛い思いをしている人を思いやることの大切さを理解し、それぞれの行為の素晴らしさを感じ、思いやりの行為を主体的に受け止め、心の絆を作ることの大切さを感じている。	
10	6	3	日々を見つめて	8 早朝ドリブル	A(2)節度、節制	○生活のリズムの乱れに葛藤する主人公の姿を通して、生活のリズムを整えることの大切さに気づき、望ましい生活習慣を身に付け、節度を守り節制に心がけて、決まりのある生活をしようとする意欲を育てる。	自分の生活を振り返り、決まりのある生活をしていくために必要な心がけについて考えを深め、主人公の焦りと不安を抱える気持ちを感じ取り、節度を守り節制に心がけようとする思いに気づいている。	
11	7	1	いのちを考える (2)	人間の命とは一人間の命の尊さ・大切さを考える	D(19)生命の尊さ	○意識がなく自分の意思を示すことができない人の命をどのように捉えるかについて考えることを通して、生命の重さを自覚し、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	医療措置の打ち切りをめぐる異なる立場からの意見は、いずれも生命の尊重の視点から発せられていることを理解し、生と死の在り方について深く考えている。	
12	7	2	家族の支えがあるから……	9 背筋をのばして	C(14)家族愛、家庭生活の充実	○敬愛する両親の思いを受け止めつつも自分の夢に向かう主人公の姿に共感しながら、自分と家族との関わりを振り返り、家族の一員としての自覚をもち、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。	主人公を応援する両親の愛情を共感的に捉え、自分と家族との関わりについて改めて振り返っている。	前期前半終了
13	9	1	いじめのない世界へ (2)	いじめから目をそむけない	※複数内容項目	○中学生が集まりいじめ防止に向けて行った取り組みを参考にいじめ問題を見つめ、自主的に考え判断し、誠実に実行する態度を養う。	いじめ防止について、その難しさを見つめながらも、皆で意見を出し合って前向きに考えていこうとする意欲を高めている。	前期後半開始 体育大会
14	9	2	見方を変えれば	6 ぼくにもこんな「よいところ」がある	A(3)向上心、個性の伸長	○自信を失いかけていた主人公が、友人の言葉によって自己理解と自己受容を深めていく姿を通して、自分自身を深く見つめ、自己のよい面に目を向け、個性を生かして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。	自己を受容すること、他者を受容することの重要性を理解している。	
15	9	3	先人の思いとともに	10 花火と灯ろう流し	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	○日本の年中行事について理解を深めることを通して、日本的な美意識や伝統の継承・発展に努めようとする態度を育てる。	季節の年中行事や儀式などを、より身近なものとして受け止め、これからも大切にし、発展させていくためにできることについて考えている。	
16	9	4	心から信じ合える友を	11 私を支えてくれた言葉	B(8)友情、信頼	○さまざまな言葉を通して信頼関係の大切さに気づいた主人公の姿に共感することで、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合いながら人間関係を深めていこうとする心情を育てる。	さまざまな言葉を通して信頼関係の大切さに気づいたことで、本当の自分を出し、相手の気持ちを考えた言葉かけをしようと決意した主人公に共感している。	
17	10	1	神秘の世界へ	15 ハッチを開けて、知らない世界へ	D(21)感動、畏敬の念	○宇宙空間という音も空気もない「命のない世界」で、作者が感じた「生命感」という感動に共感することにより、美しい地球や神秘的な生命という、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつことができるようにする。	野口さんが感じた「生命感」について深く考えている。	市駅伝大会 前期終業式

18	10	2	次世代の にない手 として	缶コー ヒーをめ ぐるやり とりの場 面をやっ てみよう	C(10) 遵法 精神, 公 徳心	○缶コーヒーをめぐるやりとりの場面を役演技することを通して、公共の場での決まりの意義を理解し、決まりを守ることの大切さを自覚するとともに、責任を他人だけに押し付けたり、逆に自分だけで抱えこんだりすることなく、次世代の担い手として、皆が安心して過ごせる関係を築こうとする態度を育てる。	コーヒー缶が落ちそうになっている場面、「私」や「会社員の女性」が本当はどうすればよかったのか、多面的・多角的に考えている。	校内音楽発表会
19	10	3	将来の自 分を見つ めて	16 好き な仕事か 安定かな やんでいる	C(13) 勤労	○職業選択に関するさまざまな立場からの意見についての考えを深めることで、勤労の尊さや意義を理解し、充実した生き方を追究し実現していこうとする心情を育てる。	職業選択に関するさまざまな立場からの意見について、グループでの意見交換を通して自分の考えを深めている。	後期始業式
20	10	4	次世代の にない手 として	17 缶 コーヒー	C(10) 遵法 精神, 公 徳心	○登場人物の言動について考えを深めることを通して、公共の場での決まりの意義を理解し、決まりを守ることの大切さを自覚するとともに、責任を他人だけに押し付けたり、逆に自分だけで抱えこんだりすることなく、次世代の担い手として、皆が安心して過ごせる関係を築こうとする態度を育てる。	それぞれの登場人物の立場や考えを尊重した上で、よりよい集団（社会）の実現に向けて主人公が採るべき行動を考えている。	
21	11	1	より高い 目標を目 指して	18 高く 遠い夢	A(4) 希望 と勇気, 克己と強 い意志	○いくつになっても夢をもち、あきらめずに一步一步努力を積み上げていく作者の姿を見つめることを通して、目標の達成を目指して、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を高める。	作者が、困難がありながらも世界最高齢でのエベレスト登頂を成し遂げ、目標を達成できた理由について深く考えている。	
22	11	2	寄りそう 中で	19 加山 さんの願 い	C(12) 社会 参画, 公 共の精神	○主人公の心情の変化について深く考えることを通して、主体的に社会に関わることの意義について理解し、公共の精神をもって誰もが安心して生活できる社会をつくっていくようとする実践意欲を育てる。	公共の精神をもって誰もが安心して生活できる社会をつくっていくようとする加山さんの姿に共感している。	
23	11	3	周りの人 に支えら れて	20 埴生 の宿	B(6) 思い やり, 感 謝	○学級の仲間と主人公が関わり合い変容していく様子に共感することで、思いやりの心をもって積極的に人と関わることの大切さに気づき、人々の温かい支えに感謝し、進んでそれに応えようする態度を養う。	労わることと思いやりを区別し、思いやりが学級の仲間と苑子の変容につながったことに共感している。	
24	11	4	情報モラ ルと友情	21 合格 通知	B(8) 友 情, 信頼	○SNSを使用する際の注意点を考えることを通して、心から信頼できる友達との関係を大切にすることの理解を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。	友達のことを思って行動したことも、場合によっては傷付けてしまうことがあることを知り、また、たとえすれ違ふことがあってもそれを乗り越え、よりよい人間関係を築いていくということについて考えている。	
25	12	1	弱さと向 き合って	22 足袋 の季節	D(22) より よく生き る喜び	○許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感することで、自らの弱さ醜さを克服し、人間として強く生きていこうとする心情を育てる。	許せない自分を受け止めながら、自らの弱さや醜さを克服して、前向きに生きていこうとする作者の姿に共感している。	人権集会 生徒会選挙

26	12	2	差別や偏見をなくすために	23 伝えたいことがある	C(11) 公正, 公平, 社会正義	○差別や偏見を許さない断固とした姿勢で闘う大石さんの姿に共感することで、誰に対しても公正公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	大石さんの決意を支えた、差別や偏見に負けない気持ちや社会をよりよくしようとする思いに共感し、差別や偏見のない社会をつくっていくようとする考え方を培っている。	後期前半終了
27	1	1	恩恵に感謝して	24 よみがえれ、日本海！	D(20) 自然愛護	○一漁師の思いや多くの人々の行動を通して、自然を愛し感謝する心や、自然の本来あるべき姿を守り抜こうとする態度を育てる。	自然への畏敬の念をもち、自然とともに生きることの大切を知り、本来あるべき自然を守ろうとする人々の姿に共感し、自分自身が何かできることはないか自問自答しながら、何らかの解を見つけようとしている。	後期後半開始
28	1	2	自ら社会参画を	25 社会からの無言の賞賛を感じる感性	C(12) 社会参画, 公共の精神	○人々のよりよい生活のために社会に関わり、その役割と責任を果たしている人たちの姿について考えることを通して、社会参画の意識と社会の一員としての自覚を深め、進んで社会の発展のために努めようとする態度を養う。	誰かが行わなければならないが表立って感謝されることのない仕事を引き受ける人がいることによって、社会が成り立っていることに気づき、自分がどう社会に関わっていくのかについて、考えを深めている。	
29	1	3	価値をめぐって	26 しあわせ	B(9) 相互理解, 寛容	○それぞれの感じる「幸せ」について、学級で意見交換を行う場面を通して、それぞれの立場を尊重し、寛容の心をもって、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。	物事についての考え方や価値観は一人一人違うということに気づき、そのうえでお互いを認め合うということについて考えを深めている。	
30	2	1	価値をめぐって	おたがいの「ちがいを」認め合おう	B(9) 相互理解, 寛容	○グループで違う意見が出たときにどうすればよいか話し合う活動を通して、それぞれの立場を尊重し、寛容の心をもって、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。	グループで違う意見が出たときにどうすればよいか、多面的・多角的に考えている。	
31	2	2	伝統を創るもの	27 受けつがれる思い	C(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実	○時には悩んだり、あきらめかけたりしながらも、互いに協力し励まし合いながら最後まで続けたサッカー部を後輩に託そうとする主人公たちの気持ちに共感することで、よりよい校風づくりに努めようとする意欲や態度を養う。	3年生が培ってきたものを後輩が協力して継続し、発展させようとする気持ちが、よりよい校風を創っていることに気づき、自らの関わり方について考えている。	
32	2	3	強く生きていくために	28 湖の伝説	A(5) 真理の探究, 創造	○死に直面しながらも自分自身を見つめ、その強さと弱さに向き合い、人間としての生き方を追い求め続けた主人公に共感することで、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努める心情を育てる。	死と向き合いながら、人間としてどう生きるかを追求し続けた主人公の姿を共感的に捉えている。	
33	2	4	その子の世界、私の世界	29 その子の世界、私の世界	C(18) 国際理解, 国際貢献	○世界の子供たちの現実を知ることを通して、国際的な視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲を育てる。	世界の子供たちの現実について、グループの人の意見も聞きながら考えを深めている。	
34	3	1	その子の世界、私の世界	そのこ	C(18) 国際理解, 国際貢献	○国際社会の問題について、人類の持続可能な社会の実現という視点から考えることを通して、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。	世界の子供を取り巻く問題を共感的に捉え、自分にできることについて周囲の意見も聞きながら考えを深めている。	

35	3	2	働くことの喜びとは	30 たんのぼぼ作業所	C(13) 勤労	○働くことの厳しさに直面しながらも、その意義について見いだそうとしている「ぼく」の心情に自分を重ね、働くことの尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会の発展に尽くそうとする態度を育てる。	主人公である「ぼく」の行動や心情を通して、働くことの意義について考えている。	卒業証書授与式 修了式
付録1			責任ある行動とは	廃品回収で学んだこと	A(1) 自主, 自律, 自由と責任	○自分の仕事をやり遂げようとしても、計画性や慎重さが足りず、母や父に心配をかけてしまう作者の姿を通して、自主性を発揮し、責任感のある行動をとるにはどうすればよいかについて考え、今後に生かそうとする態度を育てる。	自分の弱さに打ち克って行動し、責任を果たすことの喜びや達成感に気づいた作者の姿に共感し、責任をもって仕事をするということの大切さについて考えている。	
付録2			コミュニケーションの原点を見つめて	心にしみこむ”言葉”の力 一池上彰	B(9) 相互理解, 寛容	○作者が経験した、人に気持ちを伝えたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することで、お互いの考えの相違に気づいたり、認め合ったりしながら、謙虚に自他を尊重し合う態度を育てる。	相手の話をしっかり聞くために大切なことについて、作者の経験も踏まえつつ、考えを深めている。	
付録3			規則の意義とは	二通の手紙	C(10) 遵法精神, 公德心	○主人公の言動と二通の手紙について考えることを通して、法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培う。	主人公の心に共感しつつも、それを超えた法や規則の意義について深く考えている。	
付録4			心の平和を求めて	命見つめて	C(18) 国際理解, 国際貢献	○戦争の悲惨さについて深く考えるとともに、苦しみを乗り越えて平和を訴え続ける人々の生き方に共感することで、世界の平和に寄与していこうとする心情を育てる。	人を許すことが自分自身の幸福につながることも、さまざまな問題の解決に結びつく契機となりうることに、オランダの老婦人や平和活動を進める人々の言動を通して共感的に理解している。	
付録5			生きている今を見つめて	たとえばくは明日はなくとも	D(19) 生命の尊さ	○自らの生命に限りがあることを自覚したうえで自らの生き方を見つめ直し、どのように生きるかを考え抜いた主人公の姿を通して、生きている今を大切に自らを輝かせて生きようとするものの尊さを理解し、生きる喜びを見だし、生命を愛おしんで生きようとする心情を高める。	生命の尊さについて、有限性や連続性などの命そのものの視点だけでなく、生き方の視点から考えを深め、自分の生活に置き換えながら、生命を愛おしんで生きる姿を振り返っている。	

部については、付録との差し替えが可能です。